

道

2022年8月1日
(第84号)



メインセンター遠田
椋の木

《老人よ、電気を消して「貧幸」に戻ろう!》脚本家・倉本聰さんが「文藝春秋」六月号に記事を寄せている。「目前に迫った環境危機に対し、日本の危機意識はどうかしている」。「他人事のように平和呆けて豊饒の中でのんびり眠っている」。グレタ・トゥンベリさんをはじめ、世界中で、日本でも、若者たちが危機感を持って声を上げているのに、「今日の経済、明日の景気ばかり考えて」いる。「地球は子孫から借りているもの」という古いアメリカ先住民の言葉を噛みしめなければならぬ。高度経済成長前の「質素だった昔」の暮らしを知っている「老人」が、若者と連帯し、声を上げ、行動で示そう、「老後の、最後の我々の仕事に」しよう、と「老人諸氏」に訴えかけている。▼僕は若い頃、倉本さんの脚本で救われ、生きる力を貰った。今、八七歳になった彼の具体的な提案には付いていけないものが含まれるが、その目指すところは大いに賛同できる。可能なことから応えたい。▼ということ、我が家の食事室（「よりあい場あ・ねむの木」へのエアコン導入を中止し扇風機を購入する。費用は一割以下、電力消費も少ない。寝室も書斎も扇風機で。地区の社協では今期から「フードロス」対応の取り組みを始めている。▼いったん手に入れたものは手放し難い。政財界はきれいな言葉でごまかすだけで有効な手立てがとれない。温暖化・異常気象・資源・エネルギー・食糧危機・貧富格差など、待ったなしの状況であるのに。

〒710-1301

岡山県倉敷市真備町箭田 5188

TEL. 090-5366-1497

MAIL michi-care@outlook.jp

H.P. <https://michi-care.jimdo.com/>

林 道 也



小田川
(箭田橋から西)